



テメル大統領の汚職疑惑と今後の政局の行方

- 現地紙報道によりテメル大統領の汚職隠蔽疑惑が浮上したことで、ブラジルの政局不透明感が急速に高まる。
- テメル大統領は疑惑を否定し、辞任しない方針示す。政治的混乱により、年金改革法案の審議が遅れる懸念高まる。
- 5月18日のブラジル金融市場では、政局の混乱が嫌気されブラジル株や通貨リアルが急落し、国債利回りも急上昇。
- 大統領の会話の録音テープの内容次第で、今後の政局の行方は流動的。当面は神経質な相場展開が続く見込み。

テメル大統領の汚職隠蔽疑惑が浮上

ブラジルのテメル大統領による汚職隠蔽疑惑が浮上したことを受けて、ブラジルの政局不透明感が急速に高まっています。5月17日夜(現地時間)のグローボ紙報道によれば、食肉大手JBS社幹部の司法取引証言の中で、クーニャ元下院議長(汚職容疑で現在逮捕中)に対する口止め料を払うことをテメル大統領が容認する発言をしている旨の疑惑が明らかになりました。

政局の混乱を受けてブラジル株やリアルが急落

テメル大統領はJBS社幹部との会談の事実は認めながら、汚職隠蔽の疑惑を否定する声明を公表し、大統領職を辞任しない方針を示しました。

一方、①最高裁のファキン判事が大統領への汚職捜査の開始を承認したことや、②主要都市で大統領辞任要求デモが発生したこと、③議会で大統領の弾劾請求が提出されたことなどから、政局の混乱が長期化する可能性があります。議会では年金改革などの重要法案を審議中ですが、大統領の汚職問題の浮上を受けて経済改革が遅れる懸念が増しつつあります。

5月18日のブラジル金融市場では政局の混乱が嫌気され、ブラジル株や通貨リアルが急落したほか、ブラジル国債利回りも急上昇しました(図1)。

会話の内容次第では今後の政局は流動的

テメル大統領とJBS社幹部の会話を記録した録音テープの詳細な内容次第で、今後の政局の行方は流動的であると考えられます。5月18日に明らかになった録音テープの一部内容では、テメル大統領の汚職隠蔽への関与を裏付けるには「決定的ではない」(現地紙)との見方もあり、事態が安定化に向かう可能性も残されています。当面のブラジル金融市場は、テメル大統領の汚職疑惑を巡る方向性が明らかになるまでは、神経質な展開が続く見込みです。

図1:ブラジル金融市場の動向



●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。